

総合戦略 K P I 新旧対照表

【参考】 現行のまち・ひと・しごと創生総合戦略の 構成

総合計画の 将来像	政策分野（4）	基本的施策（20）
自然・人・産業の和で築く 安心のまち	<p>政策分野 1</p> <p>力強く魅力的な産業を育て 雇用を創出する</p> <p>.....</p> <p>産業振興、雇用創出</p>	<p>1-1 商工業の振興と起業・創業の支援</p> <p>1-2 南魚沼産コシヒカリを核とした農業の振興</p> <p>1-3 地域森林資源の利用促進による林業の振興</p> <p>1-4 メディカルタウン構想、CCRC 構想に基づく 産業振興</p> <p>1-5 若者・女性への就職支援</p>
	<p>政策分野 2</p> <p>地域資源を活用し、 新しいひとの流れをつくる</p> <p>.....</p> <p>移住・定住促進、 交流人口拡大、地域連携推進</p>	<p>2-1 「選ばれる」ための総合的な移住・定住の促進</p> <p>2-2 地域間・都市間交流の推進</p> <p>2-3 地域資源を活用した質の高い観光交流の推進</p> <p>2-4 生涯学習・文化活動の充実による 「学びの循環社会」の創造</p> <p>2-5 暮らしを支える社会基盤整備</p>
	<p>政策分野 3</p> <p>若い世代が暮らしやすく、 子どもを育てやすい 環境づくりをすすめる</p> <p>.....</p> <p>妊娠・出産・子育て支援、 出会い・結婚支援</p>	<p>3-1 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の充実</p> <p>3-2 「南魚沼らしい」教育環境の充実</p> <p>3-3 結婚の希望をかなえる支援</p> <p>3-4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進</p> <p>3-5 生涯にわたる健康・医療・福祉の充実</p>
	<p>政策分野 4</p> <p>協働と連携による 効率的な都市経営をすすめる</p> <p>.....</p> <p>広域連携、都市経営、 協働のまちづくり</p>	<p>4-1 計画的な土地利用の推進</p> <p>4-2 持続可能な循環型社会の推進</p> <p>4-3 広域連携の推進</p> <p>4-4 効率的な都市経営の推進</p> <p>4-5 協働のまちづくりの推進</p>

プロジェクト I

【第1期】

政策分野	基本的施策	施策	重要業績評価指標(KPI)	基準値 (基準年)	R1現在値	R1目標値	KPIを廃止(変更)する理由	
I 産業振興・雇用創出	基本目標1 力強く魅力的な産業を育て雇用を創出する		数値目標1 人口に占める市内事業所従業者数の割合	45.7%(H24)	48.0%	50%		
			数値目標2 南魚沼管内の正社員就職数の割合	65.1%	73.0%	70%		
			数値目標3 昼夜間人口比率	99.6%(H22)	100.3(H27)	100.0%	3つの数値目標がすべて労働力及び雇用に関する指標であるため、新たな基本目標を踏まえて調整(指標の変更) ※総合計画の施策5-5の達成目標(指標)として残る	
	I-1 商工業の振興と起業・創業の支援	■地域の「稼ぐ力」を強化し、地域産業の持続的な発展と安定した雇用を創出する		商工会会員数	1,714人	1,620人	現状維持	
				雇用促進奨励金の活用による新規雇用者数	73人	50人	70人	
				光ファイバー回線加入率	60.45%	74.40%	65%	光ファイバー設備を民間に譲渡したことにより評価に適さなくなったため
		■起業・創業の「種」を見出し、育てる		認定創業者数	(新規事業)	5人	毎年10人	
				商工会会員数【再掲】	1,714人	1,620人	現状維持	
	I-2 南魚沼産コシヒカリを核とした農業の振興	■農産物の「南魚沼ブランド力」向上で、農業の産産力を強化する		経営農地面積7ha以上の稲作農家(高度担い手農家)数	108戸	141戸	128戸	
				新規就農者数	13人	12人	毎年9人以上	
		■次代の農業を担う人材を育て、新規就農を促進する		職業訓練共同施設「在職者・求職者訓練」受講者数	504人	426人	500人	対象施設以外の民間機関での実施分が反映されないため(指標の変更)
				間伐材利用量	247t	718 t	300t	
	I-3 地域森林資源の利用促進による林業の振興	■地域の豊かな森林資源を保全し、活用する		地元産木材利用量	1,674m3	2,470m3	3,000m3	
				ペレットストーブ導入補助等による導入件数	85件	17台	110件	施策の主旨を踏まえ、より検証効果の高い指標に変更(指標の変更)
		■カーボンオフセット制度の活用で地域の自然環境を保全する		カーボンオフセットクレジット販売量	H25~26年度の累計販売量 63t	H27~R元年度の累計販売 487 t	H27~31年度の累計販売量 1,000t	
				お試し居住参加者数	(新規事業)	27組60人	20組40人	施策の構成変更による廃止
	I-4 メディカルタウン構想、CCRC構想に基づく産業振興	■地域の魅力向上と医療の拠点性を活用し、雇用を創出する		移住希望者の相談件数	(新規事業)	234件	50件	施策の構成変更による廃止
				大和スマートICの1日当たりの出入別交通量	987台	1,030台	1,000台	
		■「働きたい」意向を実現し、安心して働き続けられる雇用環境をつくる		20~40代女性の職業訓練受講者数	17人	27人	増加させる	対象が限定的であるため、次項とともに、検証効果の高い指標に変更(指標の変更)
			市内事業所従業者に占める女性従業者の割合	41.7%(H24)	43.3%	45%	男女比の割合を意味する指標よりも、女性の数を分母とした「女性労働力率」で向上を目指すのが適当であるため(指標の変更)	

【第2期（案）】

政策分野	基本プロジェクト	施策	重要業績評価指標(KPI)	R1現在値(基準年)	R6目標値	目標値設定根拠	総合計画
I 産業振興・働きやすいまちプロジェクト	基本目標1 稼ぐ力を「つくり」「高め」、安心して働けるまちにする		数値目標1 人口に占める市内事業所従業員数の割合	46.4%(H28)	50%(R7)	R3従業員数26,855/人口55,038=48.8%を切り上げて、1期同水準を目指す (H28経済センサスの従業員数26,855人を5年後(R3経済センサス時)まで維持。R3人口は、人口ビジョン2020年→2025年値を基に推計)	
			数値目標2 南魚沼管内の正社員就職数の割合	73%	74%(R7)	新型コロナ影響により正社員求人減が見込まれるため、R2以降いったん減少するが5年間でH30割合74%まで戻すことを目指す	
			数値目標3 一人当たり課税対象所得	1,142,990円 (参考値：R1 県内平均 1,181,000円)	県内平均以上 (R7)	市町村課税状況等調における課税対象所得/人口(調査年1月1日現在)で算出される額の県内20市平均 ※目標年度の調査結果による県内平均以上を目指す 参考：R1調査結果による県内20市平均：1,180,858円(四捨五入)	
	I-1 商工業の振興と起業・創業の支援	①地域の「稼ぐ力」を強化し、地域産業の持続的な発展と安定した雇用を創出する	商工会組織率	53%	53%	商工業者の総数は減少しているが、H30年度末53%(1641/3072)の組織率を維持する	5-4
			雇用促進奨励金の対象従業員数	50人	52人	H30策定の産業振興ビジョンにおけるKPIと整合を図り、中期・長期目標値を基にR6数値を推計する 中期 R5(2023)：49人 長期 R8(2026)：59人 3年間で10人増 ⇒R6(2024)：52人	5-5
		②起業・創業の「種」を見出し、育てる	認定創業者数	5人	10人	経済産業省から認定を受けた市の創業支援事業計画の目標値と同数とする	5-4
			商工会組織率	53%	53%	商工業者の総数は減少しているが、H30年度末53%(1641/3072)の組織率を維持する H28～31の平均45人の1割増	5-4
	③地域産業を担う人材を確保・育成する	中小企業研修受講料補助交付金の受講生数	33人	50人		5-5	
		I-2 南魚沼産コシヒカリを核とした農業の振興	①農産物の「南魚沼ブランド力」向上で、農業の産産力を強化する	経営耕地面積7ha以上の稲作農家数	141戸	148戸	H30策定の産業振興ビジョンに掲げられたKPI目標値からR6を推計 中期 R5(2023)年：144戸 長期 R8(2026)年：156戸 3年間で12戸増 ⇒R6(2024)年：148戸
	②次代の農業を担う人材を育て、新規就農を促進する		新規就農者数	12人	毎年9人以上	第1期総合戦略のR1目標値を維持	5-1
	I-3 自然環境や地域特性を活用した産業振興	①森林資源を保全し、利用促進を図る	間伐材の利用量	718 t	433 t	H28策定の国の「森林・林業基本計画」で、10年後の林産物の供給及び利用に関する目標を1.7倍(70%増)としているため、目標の主旨を踏まえ5年間で1.35倍を目指すこととする H27-31の5年平均：321 t × 1.35 = 433.35 t ※R1値は森林組合が事業主体となる間伐を実施したため大幅増。5年平均値を基に目標値設定した	5-2
			地元産木材の利用量	2,470m3	4,000m3	過去5年(H27～R元)平均：2,458m3 今後の森林環境譲与税に係る間伐等増を見込み、総合計画で当初設定したR6目標値を据え置く 内訳 ・民有林(市、森林組合) 320m3 ・国有林(内田材木) 1,880m3 ・森林環境譲与税関係 1,000m3 計 3,200m3 × 1.25(係数) = 4,000m3	5-2
			高齢森林の主伐・植栽箇所数	0か所	3か所	産業振興ビジョンのR5目標値「2か所」との整合性を図り算定	5-2
		②カーボンオフセット制度の活用で地域の自然環境を保全する	カーボンオフセットクレジット「南魚沼銘水の森」販売量	累計487t (H27～R1)	累計1000t (R2～R6)	過去5か年の販売量平均(487/5年=97.4)以上を目指すこととし、年間販売量を100tとする 年間100t × 5年間 = 累計500tをR元実績に加算する 487+500=987 ⇒ 1000	3-1
			③雪資源や自然環境を活用した産業を育てる	雪室製品を返礼品としたふるさと納税寄付額	294,404千円	430,000千円	H30→R1の増加額：約27,000千円を5年間維持 R1：294,404千円+27,000×5年=429,404千円 ⇒ 430,000千円
④医療の拠点性を活かした産業の活性化を図る	大和スマートICの出入交通量(日平均)	1,030台	1,100台	24時間化開始前のH27を除く、H28～R1の4ヶ年の平均台数1078.5台(100台単位に切り上げ)	4-2		
I-4 若者・女性への就職支援	①「働きたい」希望を実現し、安心して働き続けられる雇用環境をつくる	女性の労働力率	52%(H27)	59%	H30策定の産業振興ビジョンのKPI目標値との整合を図りR6を推計。年間1%の増加を目指す 中期 R5(2023)：58% 長期 R8(2026)：60% ⇒R6(2024)：59%	5-5	

プロジェクトⅡ

【第1期】

政策分野	基本的施策	施策	重要業績評価指標(KPI)	基準値 (基準年)	R1現在値	R1目標値	KPIを廃止(変更)する理由	
Ⅱ 移住定住促進・交流人口拡大・地域連携推進	基本目標2 地域資源を活用し、新しいひとの流れをつくる		数値目標1 社会増減数	転出超過237人	転出超過357人	転出超過200人以下		
	Ⅱ-1 「選ばれる」ための総合的な移住・定住の促進	■「住みたい」「住み続けたい」「住み続けたい」を実現するまちをつくる	お試し居住参加者数【再掲】	(新規事業)	27組60人	20組40人		スキー観光による宿泊経験者が多いことから、冬期の居住体験という形態に限定せずに、多様な形で実施する現地交流イベントに幅を広げて実施することが効果的であるため(指標の変更)
			移住希望者の相談件数【再掲】	(新規事業)	234件	50件		
		■多様な暮らし方・働き方に対応できるICT環境を整備する	光ファイバー回線加入率【再掲】		60.45%	74.40%	65%	光ファイバー設備を民間に譲渡したことにより評価に適さなくなったため
			マイナンバーカード発行枚数	(新規事業)	8,507枚	15,000枚		
	Ⅱ-2 地域間・都市間交流の推進	■都市間交流の推進によって住みやすい都市圏域を形成する	定住自立圏域自治体との市民サービス向上のための業務連携数	(新規事業)	3業務	3業務		施策の構成及び内容を踏まえて変更 ※Ⅱ-1①に移行
			近隣自治体からの「南魚スポーツパラダイス」への参加者数		69人	55人	100人	
	Ⅱ-3 地域資源を活用した質の高い観光交流の推進	■地域資源の「南魚沼ブランド」化による観光交流を推進する	観光入込客数		401万人	3,259,430人	420万人	
			食によるまちおこしイベントの域外からのエントリー数		3,371人	6,620人	10,000人	
		■道の駅「南魚沼」の観光交流拠点としての機能を強化する	道の駅「南魚沼」入込客数		40.4万人	433,109人	51.5万人	
	Ⅱ-4 生涯学習・文化活動の充実による「学びの循環社会」の創造	■ひとが集う図書館・生涯学習推進センター・公民館の連携を強化する	公民館1講座当たり参加者数		153人	173人	165人	
			市民1人当たり公民館利用回数		1.2回	1.34回	1.3回	
			市民1人当たり図書館蔵書貸出冊数		3.2冊	3.9冊	5.0冊	
		■地域文化を地域の誇りとして学び、保存し活用する	社会文化施設利用者数		96,874人	77,156人	102,300人	
	博物館等の利用者数			36,140人	30,786人	38,200人		
	Ⅱ-5 暮らしを支える社会基盤整備	■公共交通の利便性を高める	市民1人当たり市民バス利用回数		0.87回	0.80回	0.89回	
			市民バス利用人数		51,568人	44,790人	55,000人	
■ひとにやさしい道路をつくる		交通事故件数		192件	107件	170件		
		応急手当普及促進のための救急講習受講者数		3,661人/年	H27～R元年度累計参加者21,606人	H27～31年度累計参加者数20,000人		
■安全・安心なまちをつくる	防災情報メール登録者割合		8%	12%	15%			

【第2期（案）】

政策分野	基本プロジェクト	施策	重要業績評価指標(KPI)	R1現在値(基準年)	R6目標値	目標値設定根拠	総合計画	
II 移住定住・ひとの流れをつくるプロジェクト	基本目標2 地域資源を活用したつながりを築き、新しいひとの流れをつくる	数値目標1 転入者数		1,594人	1,594人(R7)	人口ビジョンにおける社会増減の設定(2035年までの20年間で転入超過層は10%転入増加、転出超過層は10%転出抑制)により、H27~R1の直近5か年平均値を基準にR7までの移動見通しを加味して算出 転入1566+18=1584人⇒R1比較で減となるためR1同数維持とする 転出1871-30=1841人		
		数値目標2 転出者数		1,951人	1,841人(R7)			
	II-1 「選ばれる」ための総合的な移住・定住の促進	①「住みたい」「住み続けたい」を実現するまちをつくる	現地交流会等イベント参加者数		78人	75人	R1実績相当を維持	6-7
			移住希望者の相談件数		234件	200件	R1実績相当を維持	6-7
			定住自立圏域自治体との市民サービス向上のための連携業務数		3業務	6業務	現行戦略のR1目標値の2倍増	6-5
		②多様な暮らし方・働き方に対応できるICT環境を整備する	マイナンバーカード普及率		15.2%	41.1%	各月の交付予想数を積み上げた枚数/R6年度末推計人口 交付枚数目標数値の根拠 R元年末(R2.3.31)8,507枚、R2年度：各月300枚で3,600枚、R3~6年度：各月200枚で9,600枚、R6年度末推計人口52,734人(人口ビジョンのR7推計人口より) 目標数値：21,707/52,734=41.16%	6-4
	II-2 交流人口・関係人口の創出・拡大	①国内外の交流を推進する	国際理解教育活動事業の参加者数		179人	150人以上	H27：140人、H28：152人、H29：118人、H30：128人、R1：177人 R1は特殊要因により実績が伸びたが、H27~5年間の平均人数(715人/5年=143人)を切り上げ	6-5
			「総合型地域スポーツクラブ」への市外からの参加者数		468人	568人	R1：スポーツパラダイス+スポーツ&ライフ=90+378=468人 年10人増×2クラブ×5年=100人増で推移とし、468+100=568人	6-5
		②南魚沼市とかかわりを持つひととの交流・絆を深める	ふるさと応援隊登録者数		10,259人	25,000人	H30~R1の増加数：約3,000人の増加を維持	6-7
		③ふるさと納税等を通じて南魚沼市を応援するひとや企業の拡大を図る	ふるさと納税寄附件数		47,327件	107,000件	H30~R1の増加数：約12,000人の増加を維持	6-7
	II-3 地域資源を活用した質の高い観光交流の推進	①地域資源の「南魚沼ブランド」化による観光交流を推進する	観光入込客数		3,259,430人	4,000,000人	少子高齢化の急激な進行に伴い国内人口の減少が続くなか、現状維持すら困難な状況。インバウンド増も見込むが、総合計画で当初設定したR6目標値及び産業振興ビジョンの目標達成は困難なため、現状から推測した人数に下方修正	5-3
			食によるまちおこしイベントの域外からのエントリー数		6,620人	7,000人	会場の受入数に限度があるため、現状維持	5-3
		②観光交流拠点の機能強化と情報発信の充実を図る	外国人の延べ宿泊者数		4,421人	30,000人	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、R1は前年比46%となったことから、その影響を考慮するとともに、国内観光誘客の強化を優先するため、産業振興ビジョンの同指標のR6(推計)目標値から下方修正する。 H30：9602人R1：4421人 産業振興ビジョンR6(推計)目標値57,000*0.46=26,220→30,000に切り上げ	5-3
			観光交流拠点の入込客数		449,080人	540,000人	新型コロナウイルスの影響を鑑み、R3から年5%増を目指す	5-3
			③自然環境や地域特性を活かしたスポーツ・ツーリズムを推進する	自転車関連イベントの参加者数		1,370人	3,400人	R2：2,582人(R1サイクルフェスタ参加実績にランバイク事業開始による増加見込みを上乗せ) R3以降：年200人の増加を目指す 2582+200×4年=3,382人(3,400人に切り上げ)

プロジェクトⅢ

【第1期】

政策分野	基本的施策	施策	重要業績評価指標(KPI)	基準値 (基準年)	R1現在値	R1目標値	KPIを廃止(変更)する理由	
Ⅲ 妊娠・出産・子育て支援・出会い・結婚支援	基本目標3 若い世代が暮らしやすく、子どもを育てやすい環境づくりをすすめる		数値目標1 合計特殊出生率	1.46	1.43	1.65		
			数値目標2 出生数	451人	347人	470人		
	Ⅲ-1 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の充実	■保健・医療・福祉・教育と家庭・地域の連携を強化する		家庭教育関係事業参加者数	5,307人	6,473人	5,600人	
				ゼロ歳児保育実施保育所率(公立+民間)	61.5%	70.3%	73.1%	
				延長保育実施保育所率(公立+民間)	65.4%	62.9%	76.9%	
		■放課後保育の充実により、子ども達の多様な体験と活動を促す		放課後子ども総合プラン実施か所数	0か所	0	9か所	放課後児童クラブ(学童クラブ)の充実や、学校、家庭、地域が連携した取組により、子ども達の多様な体験と活動を促進するため
				放課後児童クラブを利用する児童の割合	18.38%	20.86%	20%	
	Ⅲ-2 「南魚沼らしい」教育環境の充実	■地域で子どもを産み・育てていく「南魚沼らしい」教育環境を充実させる		家庭学習を目標時間以上達成している子どもの割合が70%を超える学級数	小学校87.2% 中学校48.1%	小学校77.9% 中学校44.4%	小学校90% 中学校60%	
				国際理解教育活動事業への参加者数	124人	179人	140人	
				20~40代の社会増減数	転出超過274人	転出超過246人	転出超過245人	
				家庭教育関係事業参加者数【再掲】	5,307人	6,473人	5,600人	
	Ⅲ-3 結婚の希望をかなえる支援	■若い世代の「婚活」を支援する		婚活イベント開催回数	2回	1回	4回	
				婚活イベントにおけるカップル成立数	11組	0組	20組	イベント時の成立数のみでは結婚まで繋がったのか評価ができないことと、カップリングのイベント実施数に変動があるため
	Ⅲ-4 仕事と生活の調和の推進	■ワーク・ライフ・バランスを推進する		市の審議会・委員会等の女性登用率	22.9%	22.5%	30%	
	Ⅲ-5 生涯にわたる健康・医療・福祉の充実	■市民の健康づくりを支援する		65~79歳の筋力づくり教室参加率	9.0%	5.9%	9.5%	
				特定健診(国保ドック・集団健診)受診率	49.8%	51.2%	60%	
				全死亡者に占める4大疾病*死因率	51.9%(H25)	45.6%	抑制	
		■利便性の高い地域医療連携を強化する		地域医療ネットワーク活用者数	4,946人	10,480人	13,000人	
			■少子高齢化の進行に対応した高齢者・障がい者・地域福祉の充実		前期高齢者の要介護認定率	2.9%	3.2%	2.5%
		ふれあい・いきいきサロンの参加者数		18,538人	18,181人	20,000人		

【第2期（案）】

政策分野	基本プロジェクト	施策	重要業績評価指標(KPI)	R1現在値(基準年)	R6目標値	目標値設定根拠	総合計画
Ⅲ 子ども・子育て応援プロジェクト	基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境をつくる		数値目標1 合計特殊出生率	1.43(H30)	1.60(R7)	人口ビジョンにおける自然増減の設定(2020年の合計特殊出生率設定値1.60) ※人口ビジョンの2025年の設定値(実績公表は2年後の2027年)を目標にした場合、目標年次であるR7(2025)年時点では検証不可。その直近の2020年設定値(実績公表R4(2022)年)を目標値とする	
			数値目標2 出生数	347人	398人(R7)	人口ビジョンにおけるR7(2025)年の0～4歳児人口1,992人/5か年=398.4人	
	Ⅲ-1 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の充実	①地域社会の連携により子どもを産み育てやすい環境をつくる	家庭教育関係事業の参加者数	6,473人	6,500人	総合計画で当初設定したR6目標値を達成したが、人口減少などを背景に減少傾向にあるため、R1現在値の現状維持とする (6,473人を6,500人に切り上げ)	2-5
			ゼロ歳児保育実施保育所率(公立・民間)	70.3%	76%	R6年度末を総数25(公立15、公設民営3、私立7)と見込んで算定 19(公立9、公設民営3、私立7)	1-3
		延長保育実施保育所率(公立・民間)	62.9%	68%	R6年度末を総数25(公立15、公設民営3、私立7)延長保育(18:30～20:00)17(公立7、公設民営3、私立7)と見込んで算定	1-3	
		②放課後保育の充実により、子ども達の多様な体験と活動を促す	放課後児童クラブを利用する児童の割合	20.9%	26%	第2期南魚沼市子ども・子育て支援事業計画：量の見込みにより算定	1-3
	Ⅲ-2 「南魚沼らしい」「南魚沼らしい」教育環境の充実	①地域の特色を活かした「南魚沼らしい」教育環境を充実させる	家庭学習を目標時間以上達成している子どもが70%を超える学級の割合(家庭学習時間調査)	小学校77.9% 中学校44.4%	小学校90% 中学校60%	総合計画で当初設定したR1目標値を達成できなかったため、その目標を据え置く	2-1
			国際理解教育活動事業の参加者数	179人	150人	H27:140人、H28:152人、H29:118人、H30:128人、R1:177人 R1は特殊要因により実績が伸びたが、H27～5年間の平均人数(715人/5年=143人)を切り上げ	6-5
			20～40代の人口の転出超過数	246人	180人以下	①直近5か年(H27～R1)平均社会増減数：△178人 ②人口ビジョンにおける年齢階層別の社会増減の設定を考慮して、2020→2025年(5年間)の移動を△24人(転出超過)と仮定 ③人口ビジョンの外国人の移動数設定(年7%転入増)により、5年間で+18人(転入超過) ①+②+③=-178-24+18=△184人(転出超過) ⇒社会減184人(端数切捨)	2-1
			家庭教育関係事業の参加者数	6,473人	6,500人	総合計画で当初設定したR6目標値を達成したが、人口減少などを背景に減少傾向にあるため、R1現在値の現状維持とする (6,473人を6,500人に切り上げ)	2-5
	Ⅲ-3 結婚の希望をかなえる支援	①若い世代の「婚活」を支援する	婚活・交流イベントの開催回数	4回	6回	広域計画協議会主催4回、LIFE in PARTY2回 年間計6回の開催を目指す	6-7
	Ⅲ-4 仕事・子育て両立の支援	①仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現を図る	市の審議会・委員会等の女性登用率	22.5%	30%	総合計画で当初設定したR1目標値を達成できなかったため、その目標を据え置く (国の掲げる2020年までに30%という目標に対し、当初は後期5年間で5%の上乗せを設定したが、前期実績の推移も考慮し、まず国と同率(R1目標値)を目指すこととする)	6-6

プロジェクトⅣ

【第1期】

政策分野	基本的施策	施策	重要業績評価指標(KPI)	基準値 (基準年)	R1現在値	R1目標値	KPIを廃止(変更)する理由	
Ⅳ 広域連携・都市経営・協働のまちづくり	基本目標4 協働と連携による効率的な都市経営をすすめる		数値目標1 財政健全化指標(実質公債費比率)	16.3%	15.5%	18%以内	プロジェクトⅣの枠組み、基本目標の変更により「効率的な都市経営」という視点のみで測ることは適当でないため。(指標の変更) ※総合計画の施策6-1の達成目標(指標)として残る	
			数値目標2 財政健全化指標(将来負担比率)	155.0%	126.3%	現状維持		
	Ⅲ-5 生涯にわたる健康・医療・福祉の充実	■市民の健康づくりを支援する		65~79歳の筋力づくり教室参加率	9.00%	5.9%	9.50%	
				特定健診(国保ドック・集団健診)受診率	49.80%	51.2%	60%	
				全死亡者に占める4大疾病死因率	51.9%(H25)	45.6%	抑制	他の死因の増減による影響を受けることから、評価しにくい。また、自殺者数の減少を目指すことがこころの健康づくりという面で重要なアウトカムの指標となるため。(指標の変更)
		■利便性の高い地域医療連携を強化する		地域医療ネットワーク活用者数	4,946人	10,480人	13,000人	
				前期高齢者の要介護認定率	2.9%	3.2%	2.5%	
	Ⅱ-4 生涯学習・文化活動の充実による「学びの循環社会」の創造	■ひとが集う図書館・生涯学習推進センター・公民館の連携を強化する		公民館1講座当たり参加者数	153人	173人	165人	
				市民1人当たり公民館利用回数	1.2回	1.34回	1.3回	
				市民1人当たり図書館蔵書貸出冊数	3.2冊	3.9冊	5.0冊	
		■地域文化を地域の誇りとして学び、保存し活用する		社会文化施設利用者数	96,874人	77,156人	102,300人	
				博物館等の利用者数	36,140人	30,786人	38,200人	
				ふれあい・いきいきサロンの参加者数	18,538人	18,181人	20,000人	
	Ⅳ-2 持続可能な循環型社会の推進	■ごみを減らす		家庭系ごみの1人当たり搬入量	623g/日	651g/日	610g/日	
				事業系ごみの1人当たり搬入量	417g/日	454g/日	409g/日	
		■省エネルギーの推進と新エネルギーの活用を図る		新エネルギー等普及促進事業による太陽光発電システム等設置件数	23件	0件	30件	固定買取価格の低下に伴い、補助事業の申請件数が減少したことから、事業の実施を中止しているため
			パレットストープ導入補助等による導入件数【再掲】	85件	17台	110件		
	Ⅳ-1 計画的な土地利用の推進	■安全・安心で暮らしやすい都市をつくる		平坦地国土調査済面積割合	25.70%	38.7%	43%	
				市民1人当たり市民バス利用回数	0.87回	0.80回	0.89回	
	Ⅱ-5 暮らしを支える社会基盤整備	■公共交通の利便性を高める		市民バス利用人数	51,568人	44,790人	55,000人	
			交通事故件数	192件	107件	170件		
■安全・安心なまちをつくる			応急手当普及促進のための救急講習受講者数	3,661人/年	H27~R元年度累計参加者数21,606人	H27~31年度累計参加者数20,000人		
			防災情報メール登録者割合	8%	12%	15%		
			市政懇談会参加者数	457人	243人	500人		
Ⅳ-5 協働のまちづくりの推進	■市民との協働によるまちづくりの推進		地域づくり協議会への地域活性化支援事業交付金年額	3,810万円	4,030万円	4,300万円		
			定住自立圏域自治体との市民サービス向上のための業務連携数【再掲】	(新規事業)	3業務	3業務		
Ⅳ-3 広域連携の推進	■近隣自治体との連携を強化する		公共施設管理の民営化数	H27年度以降の増加数	1か所	3か所		
			公共施設管理の民間委託数	H27年度以降の増加数	2か所	2か所	目標とした施設の民間委託が実現したこと、これまで、指定管理者制度も含め、可能な限り民間活力の導入を進めてきたことから、想定される公共施設が少なくなったため	

【第2期（案）】

政策分野	基本プロジェクト	施策	重要業績評価指標(KPI)	R1現在値(基準年)	R6目標値	目標値設定根拠	総合計画
IV 全員活躍のまちプロジェクト	基本目標4 市民みんなの活躍で、安心して暮らし続けられる魅力的な地域をつくる		数値目標1 「南魚沼市は暮らしやすい」と思う市民の割合	56.6%	60%	年代別分析で最も高い70代の63.5%を参考に設定	
			数値目標2 「南魚沼市に住み続けたい」と思う市民の割合	54.0%	60%	年々減少傾向にあるため、前回H26調査の62.5%への回復を念頭に設定	
	IV-1 生涯にわたる健康・医療・福祉の充実	①市民の健康づくりを支援する	筋力づくり教室参加者	延べ12,160人	延べ17,600人	第7期介護保険計画でR7年推計は延べ17,600人としているため、R6年も同数とする	1-5
			特定健診(国保ドック・集団健診)受診率	51.2%	60.0%	特定健診受診率の目標に準じた数値	1-1
			自殺者数の減少(過去10年間の平均人数)	18人	18人以下	総合計画で当初設定したR6目標値の継続	1-1
		②利便性の高い地域医療連携を強化する	うおぬま・米(まい)・ねっと加入者数	10,480人	20,000人	総合計画で当初設定したR6目標値(当時の南魚沼市人口の3分の1)	1-2
		③少子高齢化の進行に対応した高齢者・障がい者・地域福祉の充実を図る	介護予防事業等の取組による前期高齢者の要介護認定率	3.2%	3.2%以下	前期高齢者人口の増加に伴い、要介護認定率の上昇が予想されるが、介護、認知症、生活習慣病予防等の取組により、R1現状値3.2%以下に維持する(第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画との整合を考慮)	1-5
			ふれあい・いきいきサロンの参加者数	18,181人	20,400人	第7期高齢者福祉計画のR7年度目標数値と整合を図る	1-6
	IV-2 生涯学習・文化活動の充実による「学びの循環社会」の創造	①ひとが集う図書館・生涯学習推進センター・公民館の連携を強化する	公民館1講座当たり参加者数	173人	200人	総合計画で当初設定したR6目標値に据え置き	2-2
			市民1人当たり公民館利用回数	1.31回	1.33回	R1現在値からの増加を目指す R6公民館利用者見込み70,000人/人口ビジョンのR7推計人口52,734人=1.33回	2-2
			市民1人当たり図書館蔵書貸出冊数	3.9冊	5.2冊	総合計画で当初設定したR6目標値を継続	2-2
		②地域文化を地域の誇りとして学び、保存・活用する	市民会館の利用者数	77,156人	108,100人	総合計画で当初設定したR6目標値を継続	2-3
			博物館等の利用者数	30,786人	40,400人	総合計画で当初設定したR6目標値を継続	2-3
	IV-3 持続可能な循環型社会の推進	①ごみを減らす	家庭系ごみの1人当たり排出量	651g/日	610g/日	総合計画で当初設定したR1目標値を達成できなかったため、その目標を据え置く	3-2
			事業系ごみの1人当たり排出量	454g/日	409g/日	総合計画で当初設定したR1目標値を達成できなかったため、その目標を据え置く	3-2
		②省エネルギーの推進と新エネルギーの活用を図る	パレットストップ、パレットボイラー、薪ストップの新規設置台数	9台	10台	補助事業における1年間の上限目安(10台)を毎年増加させる	3-3
	IV-4 暮らしを支える社会基盤の整備	①計画的な土地利用で暮らしやすい都市をつくる	国土調査(地籍調査)実施済面積	115.42km ²	117.05km ²	R2～5年間の調査実施見込みを踏まえて設定	4-1
			②公共交通の利便性を高める	公共交通(バス)の利用者数	274千人	265千人	地域公共交通網形成計画(計画期間R2～6年)の目標値265千人との整合を図る(計画では人口減少によりR7年に246千人と推計しているが、利用促進を図り現状維持を目指すとしている)
			市民バス利用人数	44,790人	36千人	地域公共交通網形成計画の公共交通(バス)の利用者数のR6目標値より市民バス分を案分(13.5%)して算出 265千人×13.5%=35,775人	4-2
		③ひとにやさしい道路をつくる	交通事故件数(過去5年間の平均事故件数)	107件	96件以下	過去5か年(H27～R1)の事故発生件数の平均106.8件の10%減=96件とする H27:122件 H28:116件 H29:115件 H30:99件 R1:82件	4-2
		④安全・安心なまちをつくる	救急講習受講者数	累計21,606人(H27～R1)	累計45,000人(R2～R6)	総合計画で当初設定したR6目標値を維持	6-3
			防災情報メール登録率	12%	18%	毎年、人口比の1%の増加を目指す R2.3未人口55,884→1%:559 R1現在値6,700+559*5=9,495 9495/52,734(人口ビジョンR7人口)=18.0%	6-3
	IV-5 協働のまちづくりの推進	①市民との協働によるまちづくりを推進する	市政懇談会への参加者数	243人	500人	総合計画で当初設定したR1目標値を達成できなかったため、その目標を据え置く	6-2
			地域づくり協議会への地域活性化支援事業交付金年額	4,030万円	4,800万円	R1:4,030万円、R2:公民館事業分+500万円=4,500万円、さらにふるさと納税事業の連携等により毎年60万円の増×5年=300万円を見込む	6-2
IV-6 効率的な都市経営の推進	①地域間連携を推進する	定住自立圏圏域自治体との市民サービス向上のための連携業務数	3業務	6業務	現行戦略のR1目標値の2倍増	6-5	
		②公共施設の効果的・効率的運営と拠点機能の集約・強化を推進する	公共施設の民営化数	累計1か所(H27～R1)	累計3か所(R2～R6)	現行戦略で目標とした施設の民営化が図られていないため、継続する	6-1